

令和7年度 学校経営にあたって

校長 相庭 俊一

1 学校経営の方針

本校学校教育目標「ゆたかに たくましく」を南中生の不易のスローガンと捉え、変化の激しい社会にあつて、様々な困難や課題が増える中、そのときに最も重視したい資質・能力と育てたい生徒像を副題（中期目標）として掲げたいと考える。

OECD（経済協力開発機構）では、急速に変化する世界で持続可能な社会の創り手となる子どもたちに、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」を求めている。これは、本校で育てたい資質・能力「主体的に物事に取り組み、様々なことに挑戦して自己の可能性を広げる力」と軌を一にするものである。

そこで、本年度は学校教育目標を「ゆたかに たくましく」～になりたい自分になるために、自分で考えて、責任をもって行動する南中生～と設定し、上記の資質・能力を具現化する南中生の姿として示した。

また、心理的安全性が確保され、生徒が明日も通いたくなる学校を目指し、「子どもたちにとっての最大のごほうびは、教師の『笑顔』と『機嫌のよさ』」（川上康則氏）、「子どもを『人間として』『子どもとして』『個人として』尊重する子ども観の確立」（山下雅彦氏）の二つの考えを基調に、「スマイル&リスペクト」を教職員の共通実践としたい。

以上、「になりたい自分になるために、自分で考えて、責任をもって行動する南中生」を目指す生徒像、「スマイル&リスペクト」を教職員の行動指針として学校経営を推進していきたい。

2 学校教育目標

「ゆたかに たくましく」

～になりたい自分になるために、自分で考えて、責任をもって行動する南中生～

3 目指す姿

(1) 目指す生徒像と育てたい資質・能力

- ① なりたい自分になるために、自分で考えて、責任をもって行動する生徒
～主体的に物事に取り組み、様々なことに挑戦して自己の可能性を広げる力～
- ② 思いやりの心もち、互いに認め合いながら高め合う生徒
～人の気持ちを理解し、人と関わりながら学び続ける力～
- ③ 心と体を鍛え、生活と学びの質を高める生徒
～心身の健康に気を配り、社会の一員としてよりよい生き方を追求する力～

(2) 目指す教師像

- ① スマイル&リスペクトを実践する教師
 - ・機嫌よく笑顔で生徒と関わり合うことを意識して実践する。（スマイル）
 - ・生徒を「人間として」「子どもとして」「個人として」尊重する。（リスペクト）
 - ・先生は、「先ず、生き生きする人」であろうと努力する。
- ② 生徒と共に学び、共に活動し、共に成長する教師（俱学・俱働・俱進）
- ③ なりたい教師になるために、自分で考えて、責任をもって行動する教師

(3) 目指す学校像

- ① 教師の笑顔と機嫌のよさによって、生徒を優しく温かく迎える学校
- ② 働きやすさを追求することによって、教職員の心身の健康を担保する学校
- ③ 成長した生徒の姿によって、保護者や地域から信頼される学校

4 経営の重点と主な施策

(1) 安全・安心な風土の醸成

① 「スマイル&リスペクト」の共通実践

- ア 機嫌よく笑顔で生徒と関わり合い、生徒を一人の人間として尊重する。
- イ 威圧的な態度、強い叱責、ネガティブ要素をもった言葉かけなど、不適切な指導を排除する。

② 挑戦の推奨と失敗の容認

- ア 生徒が自分で考えて、責任をもって挑戦することを後押しする。
- イ 失敗はマイナスと捉えず、自己を成長させるプラスと捉える。
- ウ 安心して「分からない」が言える教室をつくるよう工夫する。

③ 発達支持的生徒指導の推進

- ア 生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話を積極的に行う。
- イ 多様性に配慮し、均質化のみに走らない指導を行う。
- ウ 「困った、助けて」と言えるように適切な援助希求を促す。

④ 「チーム担任制」の研究と試験的な導入

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- イ 生徒が自由な発想で日常的にICTを活用できるようにする。
- ウ 対話や協働を通じて、生徒自ら問題を発見し解決していく課程を重視する。

(3) 教職員の資質能力の向上と働き方改革の推進

① 教職員の資質能力の向上

- ア 人事評価とリンクした明確な指標設定に基づいた研修に努める。
- イ 初任者研修、中堅教諭等資質向上研修等を活用した校内研修の充実を図る。
- ウ 生徒間トラブルや対立を学びに変え、生徒の成長につなげる。

② 教職員の働き方改革の推進

- ア 教育計画や学校行事、PTA活動等を抜本的に見直す。
- イ 持続可能な部活動となるよう部活動の在り方（活動時間等）を見直す。

③ 「チーム担任制」の研究と試験的な導入

(4) 開かれた学校と信頼される学校づくりの推進

- ア CS機能を生かして家庭や地域の声を学校運営に反映させるようにする。
- イ ホームページ、一斉メール等により積極的な情報発信を行う。